
TOSHIBA

Leading Innovation >>>

液晶ディスプレイ

取付/取扱説明書

形名

TD-X461M

ユーザーメモ

形名・シリアル番号は液晶ディスプレイ本体の背面に記載されています。

形名・シリアル番号を下記にご記入ください。
東芝の販売店にご連絡される際は、この番号をお伝えください。

形名： _____



シリアル番号： _____

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意




商品および取付/取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

- *1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
 *2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
 *3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁止	“○”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

- 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

- 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したまま取り扱っていると、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する



指示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しない



風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

- 振動・衝撃のある場所に設置しない



振動禁止

振動・衝撃で液晶ディスプレイが移動・転倒し、けがの原因となります。

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む



指示

- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

- 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する



指示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

つづき

設置するとき つづき

■ 転倒・落下防止の処置をする



指示

転倒・落下防止の処置をしないと、液晶ディスプレイの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。転倒・落下防止のしかたについては、設置環境により異なりますので、工事専門業者にご依頼ください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する



指示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない



禁止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 異物を入れない



異物挿入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら液晶ディスプレイ・電源コードおよび本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



禁止

感電の原因となります。

⚠ 注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。(17.5mm以上の間隔をあける)
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない



禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、



指示

- 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱うひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、液晶ディスプレイを落としたりしてけがをしたりする原因となることがあります。
 - 液晶ディスプレイを押ししたり液晶ディスプレイを支えていなかったりすると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因となることがあります。
 - 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う
 - 液晶ディスプレイが破損してけがの原因となることがあります。
 - 移動する前に、すべてのケーブルを取り外す
- ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

■ 車（キャスター）付きのスタンドに設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



指示

固定しないとスタンドが動き、けがの原因となることがあります。曇やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはすしてください。キャスターをはすさないで、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が進んだりしないように注意する



指示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 高度3000mを超える場所では使用しないでください。



禁止

正常に動作しない可能性があります。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、



禁止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
 - 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
 - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 火災・感電の原因となります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する



指示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

使用するとき

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



禁止

タコ足配線をしてしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



禁止

タコ足配線をしてしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

使用するとき つづき

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■液晶ディスプレイやスタンドにぶら下がったり、上に乗ったりしない



禁止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■リモコンに使用している乾電池は、



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示(+)と(-)を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 移転など、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 本機を譲渡する場合、全ての情報を初期化することをお勧めします。
- 本機を破棄する場合、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。



メモは、重要度の高い情報や、特に注意が必要なことを強調して示しています。また、補足情報も記載されています。

■液晶ディスプレイの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない



禁止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



指示

感電の原因となることがあります。

■1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店に相談する



指示

本体の内部にはこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿度の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

商標に関する情報

- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface はHDMI Licensing の商標または登録商標です。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取付/取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

目次

1. 開梱と設置	1	4. OSD メニュー	16
1.1. 開梱	1	4.1. OSD メニューを操作する	16
1.2. 梱包箱の内容	1	4.1.1. リモコンを使って OSD メニューを 操作する	16
1.3. 設置時の注意	2	4.1.2. 本機のコントロールボタンを使って OSD メニューを操作する	16
1.4. テーブルスタンドを取り付ける・取り外す (オプション)	2	4.2. OSD メニューの概要	16
1.5. 壁に取り付ける	3	4.2.1. 映像設定メニュー	16
1.5.1. VESA グリッド	4	4.2.2. 画面設定メニュー	17
1.6. 縦向きでの取り付け	5	4.2.3. 音質設定メニュー	18
1.7. 電源の接続	5	4.2.4. 子画面設定メニュー	19
1.8. 画像の焼付きおよび残像を防ぐ	5	4.2.5. 詳細設定 1 メニュー	20
1.9. OPS モジュールの装着	6	4.2.6. 詳細設定 2 メニュー	21
2. 各部の名称と働き	7	4.2.7. 詳細設定 3 メニュー	23
2.1. 操作ボタン	7	4.2.8. アドバンスドオプションメニュー	24
2.2. 入力/出力端子	8	5. 入力モード	26
2.3. リモコン	9	6. トラブルシューティング	27
2.3.1. リモコンボタンの機能	9	6.1. トラブルシューティング	28
2.3.2. リモコンモード	11	7. 技術仕様	29
2.3.3. ID モードの設定	11		
2.3.4. リモコンに乾電池をセットする	12		
2.3.5. リモコン操作上の注意	12		
2.3.6. リモコンの動作範囲	12		
3. 外部機器を接続する	13		
3.1. 外部機器を接続する (DVD/VCR/ VCD)	13		
3.1.1. コンポーネントビデオ入力を使用す る	13		
3.2. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイ を接続する	13		
3.2.1. ディスプレイコントロールの接続	14		
3.2.2. デジタルビデオ接続	14		
3.2.3. アナログビデオ接続	14		
3.3. IR 接続	15		
3.4. IR パススルー接続	15		

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

- 本機は、標準の付属品とともに梱包されています。
- オプションの付属品は、別梱包されています。
- 開梱後は、中身がすべてそろっており損傷していないことを確認してください。

1.2. 梱包箱の内容

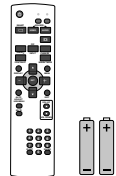
- LCD ディスプレイ
- リモコンと単四電池(2個)
- 電源コード(1.8 m)
- VGA (D-SUB) ケーブル(1.8 m)
- IR 延長レシーバー(1.8 m)
- 取付/取扱説明書
- RS-232Cケーブル(1.8m)



LCDディスプレイ



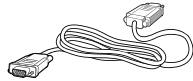
取付/取扱説明書



リモコンと単四電池(2個)



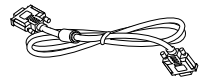
電源コード



VGA (D-SUB) ケーブル



IR 延長レシーバー



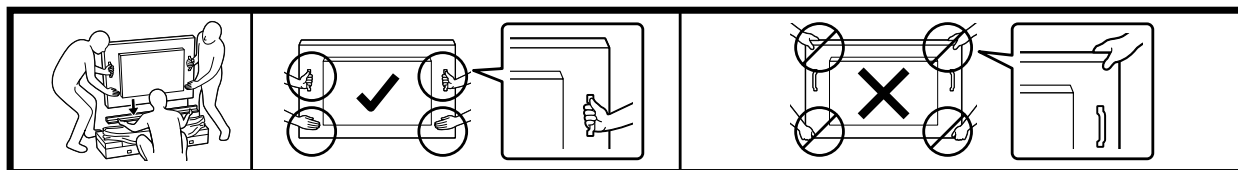
RS-232Cケーブル



- 付属の電源コード以外のは、本機に使用しないでください。
- 付属の電源コードは、本機以外に使用しないでください。
- 本機を発送する時のため梱包箱と梱包材は保管しておくことをお勧めします。

1.3. 設置時の注意

- 電力消費量が大きいため、必ず本機専用のコンセントを使用してください。延長ケーブルを使用する場合は、サービス代理店にお問い合わせください。
- 倒れないように、平らな場所に設置してください。本機背面と壁の間の距離は、17.5mm以上で、かつ適切な換気が行われる程度に開けてください。台所や浴室など、湿気の多い場所には設置しないでください。電子部品の寿命が短くなります。
- 本機を移動したり持ち上げたりするときは、2人以上で作業してください。
- 必ず、本機の背面にある取っ手を持ってください。ディスプレイの画面や外枠(フレーム)を持たないでください。

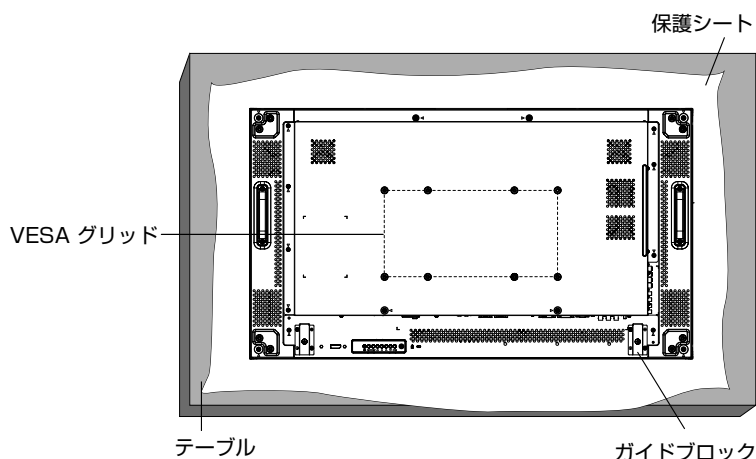


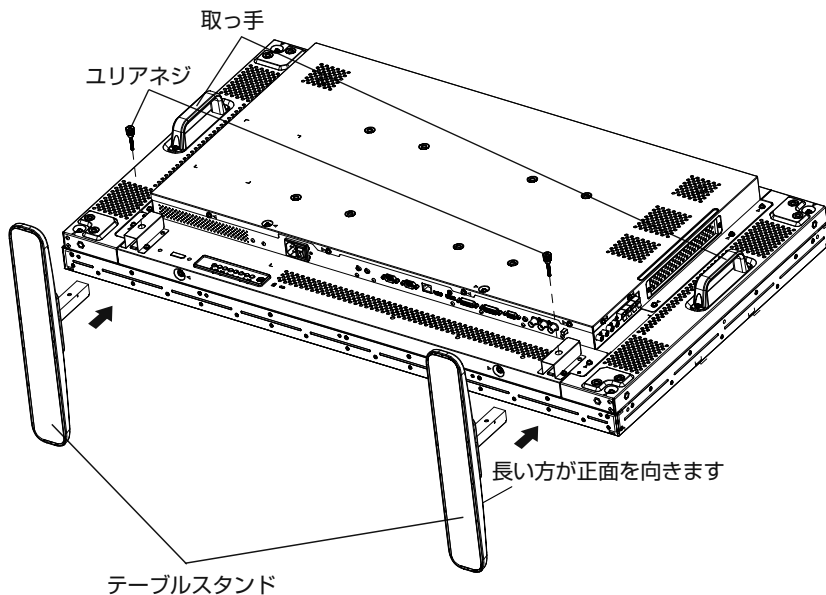
- 本機を一時的にテーブルに置く場合、必ずクッションを置いて水平に置いてください。本機の片側をテーブルにのせたままで、片側を10°以上持ち上げないでください。

1.4. テーブルスタンドを取り付ける・取り外す(オプション)

テーブルスタンドを取り付ける

- 本機の電源が切れていることを確認します。
- 出荷時に本機を包んでいた保護シートを、平らなテーブル上に広げます。
- 本機の取っ手を持ち、本機表面を下にして保護シートの上に置きます。
- ガイドブロックにスタンドを挿入し、本機の両側のネジを締めます。





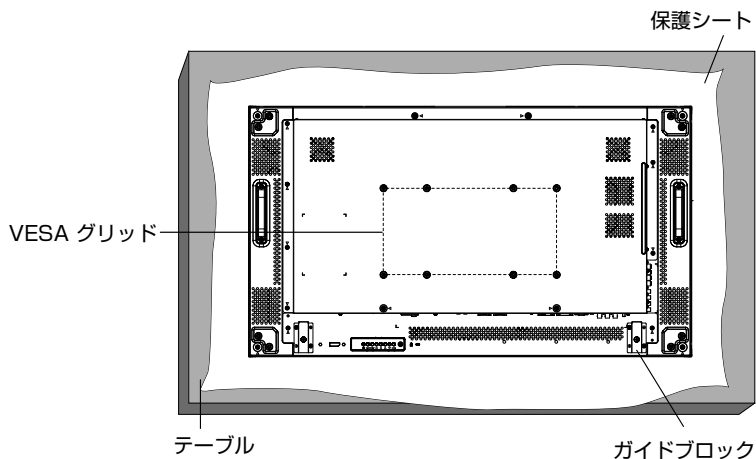
メモ ・ スタンドの長い方が、本機正面の方を向くように挿入してください。

テーブルスタンドを取り外す

1. 本機の電源を切ります。
2. 保護シートを平らな場所に広げます。
3. 本機の取っ手を持ち、本機表面を下にして保護シートの上に置きます。
4. ネジを緩めてテーブルスタンドを取り外し、安全な場所に保管します。

1.5. 壁に取り付ける

本機を壁に取り付ける場合は、標準の壁掛けキット(市販)を用意してください。取り付け部品はTUV-GSおよびUL1678北米規格に準拠したものを使用してください。



1. 出荷時に本機を包んでいた保護シートをテーブルに敷き、表面に傷がつかないように本機を置きます。
2. 本機の取り付け(壁掛け、天井取り付け、テーブルスタンド等)に必要なすべての付属品がそろっていることを確認します。
3. 壁掛けキットに付属している手順書に従ってください。正しい取り付け手順に従わないと、機器が損傷したり、使用者や設置者が怪我をする恐れがあります。不適切な設置が原因の損害は、製品保証書の対象外です。
4. 壁掛けキットの場合、M6 取り付けネジ(取付金具の厚みよりも 10 mm 長いネジ(ネジ頭部を除いた長さ))を使用し、しっかりと締めてください。
5. 壁掛けキットを除くユニット重量は 23.0 kg です。機器と機器の取り付け手段は、試験により安全が確認されています。最小重量/荷重が 69.0kg以上のVESA 基準に準拠した取付金具のみを使用してください。
6. ビデオウォール(複数面)設置する場合、外枠(フレーム)間が接触しないように設置してください。
7. DC ファンの通風孔を塞ぐことがないように、ディスプレイの背面と壁の間を17.5mm 以上あけて設置してください。

1.5.1. VESA グリッド

TD-X461M	400(横)×200(縦)mm 200(横)×200(縦)mm
-----------------	------------------------------------

⚠ 注意

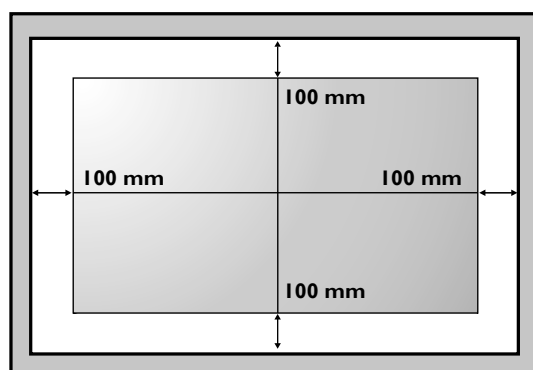
本機の落下を防止するために:

- 壁または天井に取り付ける場合は、市販の金属製ブラケットを使用して取り付けをお勧めします。詳しい取り付け手順については、ブラケットに付属の説明書をご覧ください。
- 地震や災害などでの本機の落下による怪我や損傷の可能性を最小限にするため、取り付け位置についてはブラケットメーカーにお問い合わせください。

筐体内に設置する際の換気要件

筐体内に熱がこもらないように、図のとおり本機と筐体との間を開けてください。

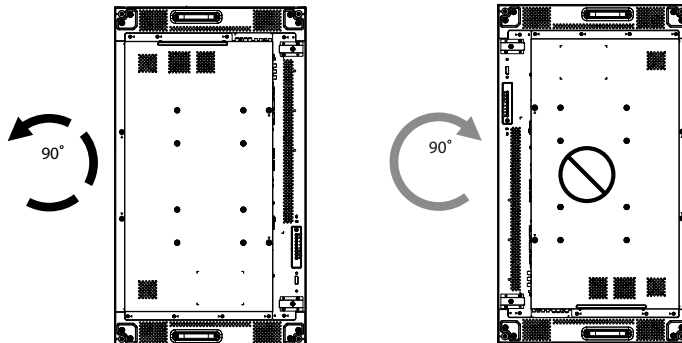
《例》2×2 台構成(ディスプレイ4台)の場合



1.6. 縦向きでの取り付け

本機は、縦向きに取り付けることができます。

1. テーブルスタンドが取り付けられている場合は、取り外してください。
2. 背面から見て、反時計回りに 90 度回転します。背面を見ると、操作ボタンの位置が右下になります。



1.7. 電源の接続

- 接続の前に本体の主電源が「切」になっていることを確認してください。
- できるだけ本機に近い電源コンセントを使い、すぐに手が届くようにしてください。
- 必ず接地接続を行ってください。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
- また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

1.8. 画像の焼付きおよび残像を防ぐ

⚠ 注意 静止画を長時間表示しないでください。長時間表示すると画像の「焼付き」が起きたり、画像の「残像」が残ることがあります。これは、保証対象外となります。

静止画のみを長時間映さないでください。

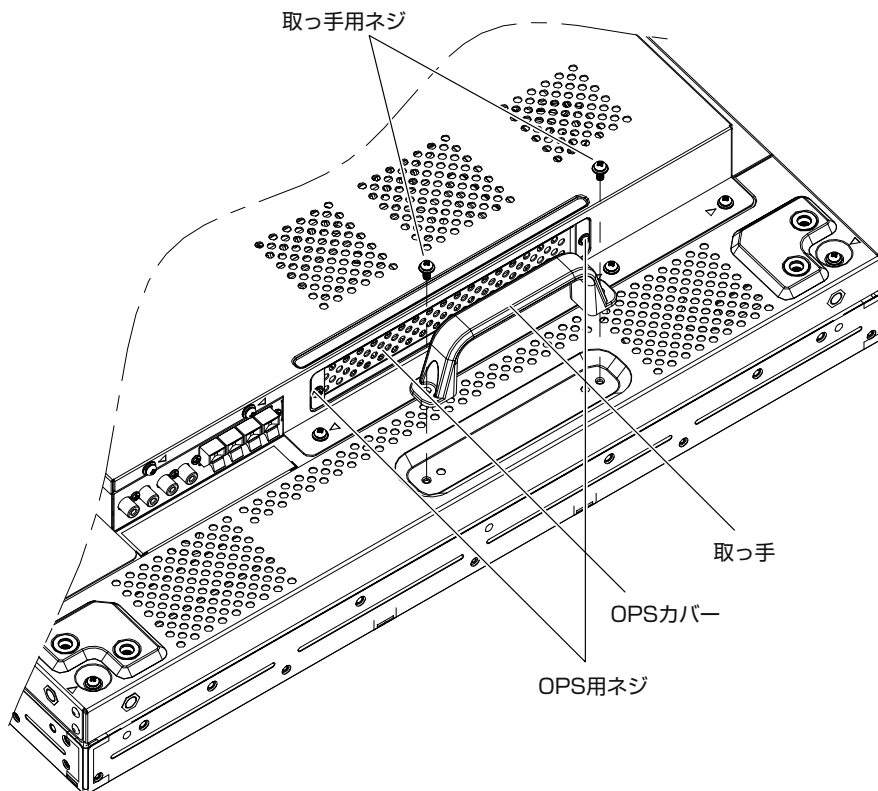
できる限り動画を表示してください。

- 使用しない時は本機の電源を切るか、スケジュール(「詳細設定1」20ページ参照)を使って、1日であらかじめ決めた時間に自動的に電源が切れるようにしてください。
画像の残像発生を抑えるためにスクリーンセーバー機能(「詳細設定3」23ページ参照)を使用されることをお勧めします。

1.9. OPS モジュールの装着

本機にOPSモジュールを装着する。

- 取っ手を固定しているネジをはずして、取っ手をはずします。
- オプションスロットカバーのネジをはずして、カバーをはずします。
はずしたオプションスロットカバーは保管してください。
- OPSモジュールを装着します。
- OPSモジュールをネジで固定します。
- 取っ手を取り付けます。



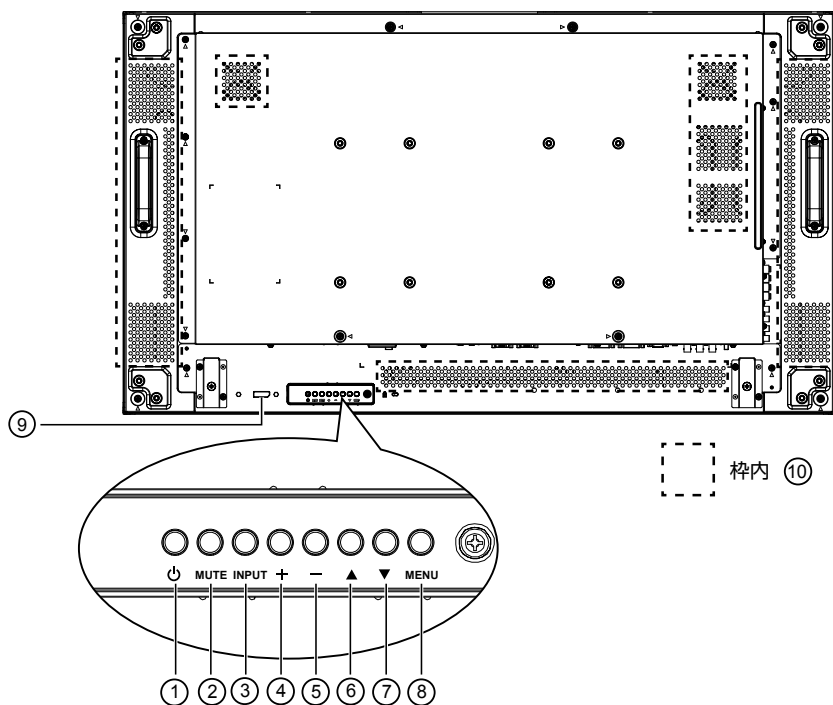
⚠ 注意

OPS モジュールが適切な位置、向きにあるか確認し、スロットに完全に挿入してください。
位置や向きが適切でない、機器が破損することがあります。

OPS モジュールを取り出すときは、取っ手以外は触れないでください。ケーブルを持ってひっぱることなどは破損の原因になります。

2. 各部の名称と働き

2.1. 操作ボタン



① [⏻] ボタン

本機の電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

② [MUTE] ボタン

音声のミュート ON/OFF を切り替えます。

③ [INPUT] ボタン

入力ソースを選択します。

- ・ オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの [OK] ボタンと同様に使用します。

④ [+] ボタン

OSD メニューで調節する値を増やします。OSD メニューでないときは音声出力レベルを上げます。

⑤ [-] ボタン

OSD メニューで調節する値を減らします。OSD メニューでないときは音声出力レベルを下げます。

⑥ [▲] ボタン

OSD メニューで、現在選択されている項目の 1 つ上の項目を選択します。

⑦ [▼] ボタン

OSD メニューで、現在選択されている項目の 1 つ下の項目を選択します。

⑧ [MENU] ボタン

OSD メニューを表示しているときは、前のメニューに戻ります。

OSD メニュー非表示のときは、[MENU] ボタンを押すと、OSD メニューを表示します。

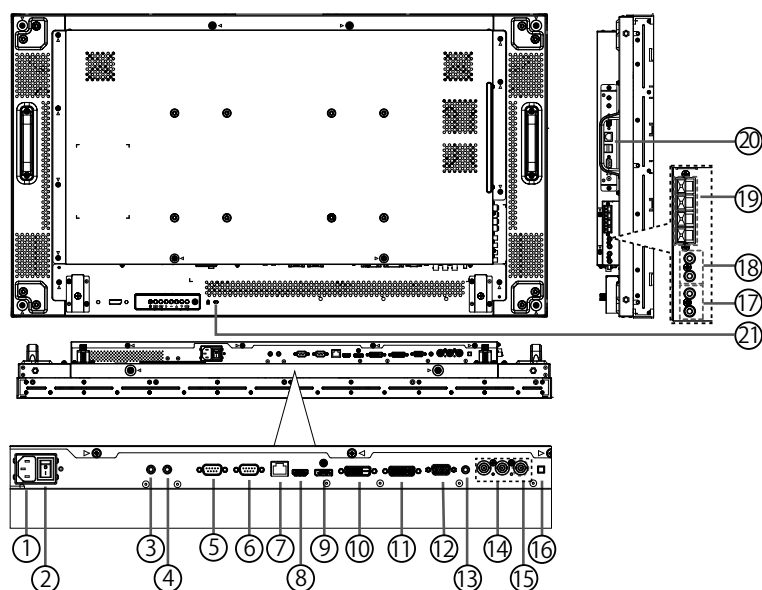
⑨ リモコンセンサー兼電源状態インジケータ

- ・ リモコンからのコマンド信号を受信します。
- ・ OPS が取り付けられていない場合、次のように本機の動作状態を表示します。

- 緑に点灯: 本機の電源が入っている
- 赤に点灯: 本機がスタンバイモードになっている
- 緑と赤が交互に点灯: 故障が検出されている
- 消灯: 本機の主電源が切れている

⑩ 通風孔

2.2. 入力/出力端子



① AC 入力

コンセントからの AC 電源入力端子。

② 主電源スイッチ

主電源のオン/オフを切り替えます。

③ IR 入力/④ IR 出力

ループスルー機能用の IR 信号の入力/出力端子。

- メモ** ・本機のリモコンセンサーは、[IR 入力] ジャックに接続されている場合は動作しません。
 ・本機を経由して A/V 機器をリモート制御したい場合は、15 ページの「IR パススルー接続」を参照してください。

⑤ RS-232C 出力/⑥ RS-232C 入力

ループスルー機能用の RS-232C ネットワークの入力/出力端子。

⑦ RJ-45

コントロールセンターからのリモコン信号を使用するための LAN 制御用端子。

⑧ HDMI入力

HDMIビデオ/音声入力。

⑨ DisplayPort 入力

DisplayPort ビデオ入力。

⑩ DVI-D入力

DVI-D ビデオ入力。

⑪ DVI-I (DVI-D/VGA)出力

DVI または VGA ビデオ出力。

⑫ VGA 入力(D-Sub)

VGA ビデオ入力。

⑬ PCライン入力(VGA AUDIO IN)

VGA ソース用音声入力(3.5mm ステレオフォン)。

⑭ コンポーネント入力(BNC)

コンポーネント YPbPr ビデオソース入力。

⑮ Y/CVBS

ビデオソース入力。

⑯ スピーカースイッチ

内部スピーカーのオン/オフを切り替えます。

⑰ 音声入力

外部 AV 機器からの音声入力(RCA)。

⑱ 音声出力

外部 AV 機器への音声出力(RCA)。

⑲ スピーカー出力

外部スピーカーへの音声出力。

⑳ OPS スロット

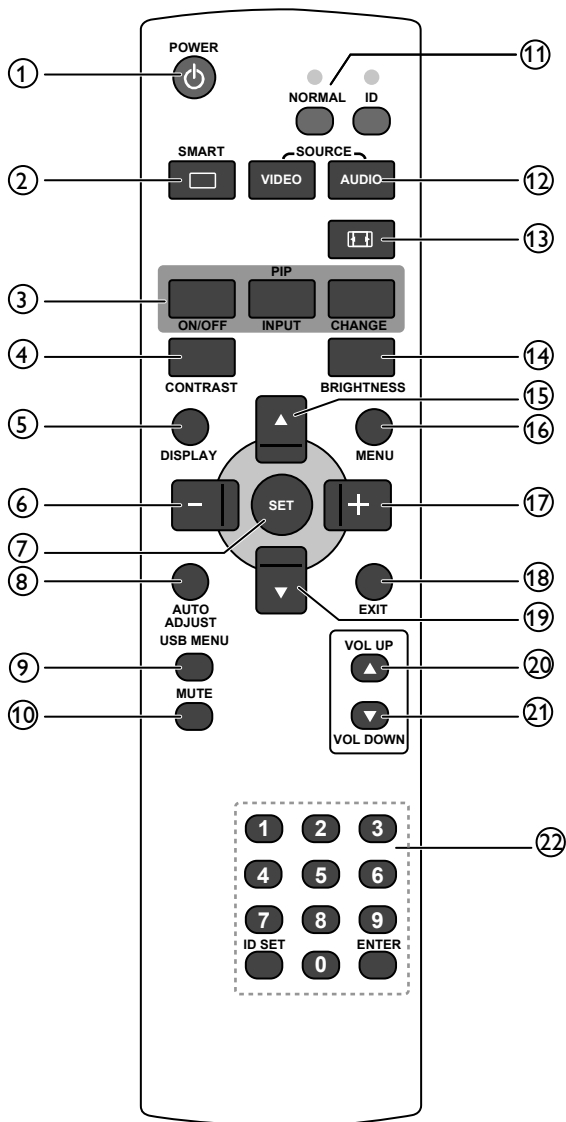
オプションの OPS モジュール取り付け用スロット。

㉑ 盗難防止用ロック 取付穴

セキュリティおよび盗難防止に使用します。

2.3. リモコン

2.3.1. リモコンボタンの機能



① [] 電源ボタン

本機の電源を入れたり、スタンバイにします。

② [SMART] ボタン

SMARTボタンを押して、以下の画質モードの設定を行います。

- **STANDARD**: 標準的な画質設定 (工場出荷設定).
- **HIGHBRIGHT**: 動画に適した画質設定
- **sRGB**: PC接続時に適した画質設定(PCモードの時、有効).
- **CINEMA**: 映画に適した画質設定 (ビデオモードの時、有効)

③ [PIP] (Picture In Picture) ボタン

[ON/OFF]: PIP モードのオン/オフ設定を行います。

[INPUT]: 子画面の入力信号を選択します。

[CHANGE]: 主画面と子画面の切り替えを行います。

④ [CONTRAST] ボタン

コントラスト調整メニューの入/切を行います。[+] または [-] ボタンを押してコントラスト調整を行います。

[MENU] ボタンで確認ができます。

⑤ [DISPLAY] ボタン

画面右上に表示するOSDインフォメーションを入/切します。

⑥ [-] ボタン

OSDメニュー選択時に押すと、左方向に選択項目を移動します。

OSDメニュー内の数値調整時に押すと、数値が減少方向にシフトします。

PIPモード時に押すと、子画面が左方向に移動します。

⑦ [SET] ボタン

OSDメニューの入力または選択内容を決定します。

⑧ [AUTO ADJUST] ボタン

画面の自動調整を行うことができます。

 **メモ** ・この操作はVGA入力の際のみ機能します

⑨ [USB MENU] ボタン

本機ではサポートしていません。

⑩ [MUTE] ボタン

ミュート機能をオン/オフにできます。

⑪ [NORMAL / ID] ボタン

ビデオウォール構成で複数のディスプレイに対し、ディスプレイ毎にコントロールする場合、リモコンIDを設定します。

⑫ [VIDEO SOURCE] ボタン

映像入力信号を選択します。[▲] または [▼] ボタンを押して、**HDMI, DVI, VGA, DVD/HD, VIDEO, DP(DisplayPort), OPS**を切り換えます。

[SET] ボタンを押して設定を確定し、終了します。

[AUDIO SOURCE] ボタン

音声入力信号を選択します。ボタンを押して以下を切り替えます。

Audio : **HDMI**(HDMI入力時)

Audio : **DP**(DisplayPort入力時)

Audio : **1**

Audio : **2**

⑬ [Picture Format] ボタン

画面アスペクトを選択します。

PC信号の場合: **FULL, NORMAL, CUSTOM, REAL**を選択します。

ビデオ信号の場合: **FULL, NORMAL, DYNAMIC, CUSTOM, REAL**を選択します。

⑭ [BRIGHTNESS] ボタン

ブライトネス調整メニューの入/切を行います。[+] または [-] ボタンをおしてブライトネス調整を行います。

⑮ [▲] ボタン

OSDメニューの選択に押すと、上方向に選択項目を移動します。

PINPモード時に押すと、子画面が上方向に移動します。

⑯ [MENU] ボタン

OSDメニューの入/切を行います。

⑰ [+] ボタン

OSDメニュー選択時に押すと、右方向に選択項目を移動します。

OSDメニュー内の数値調整時に押すと、数値が増加方向にシフトします。

PINPモード時に押すと、子画面が右方向に移動します。

⑱ [EXIT] ボタン

OSDメニューの前のページに戻ります。または前の機能を終了します。

⑲ [▼] ボタン

OSDメニューの選択に押すと、下方向に選択項目を移動します。

PINPモード時に押すと、子画面が下方向に移動します。

⑳ [VOL UP] ボタン

音量を上げます。

㉑ [VOL DOWN] ボタン

音量を下げます。

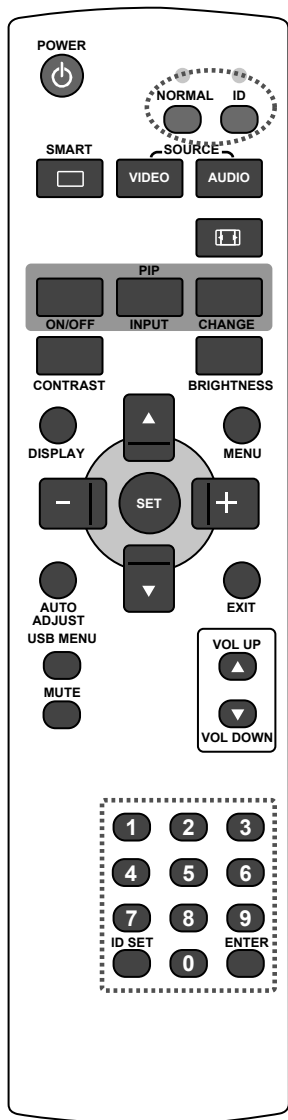
㉒ [1~0 / ID SET / ENTER] ボタン

ディスプレイIDを設定します。

2.3.2. リモコンモード

リモコンには、**NORMALモード**と**IDモード**があります。

1. **NORMALモード**のときは、各ボタンを押したときリモコン上部にある緑色のLEDが点灯します。
モニターIDに関係なく本機を操作することが出来ます。
2. **IDモード**のときは、各ボタンを押したときリモコン上部にある赤色のLEDが点灯します。
モニターIDとリモコンIDを同じにすることで、複数のディスプレイを個々に操作することが出来ます。



2.3.3. IDモードの設定

ディスプレイ毎にリモコンIDを設定して使う場合、リモコンIDを設定します。

1. **ID**ボタンを押すと、LED表示(赤)が2回点滅します。
2. 1秒以上**ID SET**ボタンを押し続け、**IDモード**に入ると、LEDランプ(赤)が点灯します。
3. **[0]** ~ **[9]**ボタンを押して、操作するディスプレイ画面を選びます。
《例》ディスプレイ画面No.1を選ぶ場合は、**[0]**ボタン、次に**[1]**ボタンを押します。ディスプレイ画面No.11を選ぶ場合は、**[1]**ボタン、次に**[1]**ボタンを押します。
番号は**[01]**から**[99]**まであります。
4. **[ENTER]**ボタンを押して、確定します。LEDランプ(赤)が2回点滅して、消えます。



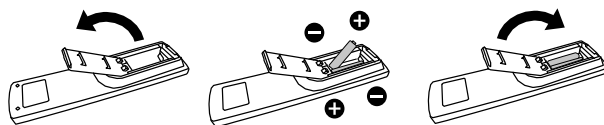
- ・ **[NORMAL]**ボタンを押すと、LEDランプ(緑)が2回点滅し、**NORMALモード**になります。
- ・ **IDモード**で使用する場合、本機のモニターIDをそれぞれ設定します。
モニターIDの設定については、21ページを参照してください。
- ・ 上記2にて、もう一度**ID SET**ボタンを押すと**IDモード**から抜けLEDランプ(赤)が消えます。
- ・ 上記3にて、ボタンを10秒間押さないと、自動的に**IDモード**から抜けます。
- ・ 上記3にて、数字ボタン以外を押してしまうとLEDランプ(赤)が消えます。
1秒待つと、また点灯しますので、正しい数字ボタンを押してください。

2.3.4. リモコンに乾電池をセットする

リモコンは1.5V 単四電池を 2 本使用します。

乾電池をセットまたは交換する

1. カバーを押してスライドし、開けます。
2. 極性表示の(+)と(-)の通り乾電池を入れます。
3. カバーを元通りに取り付けます。



⚠ 注意 電池は正しく使用してください。誤った使い方をすると、漏れや破裂の原因になります。次の指示を守ってください。

- 極性表示の(+)と(-)の通りセットしてください。
- 違う種類の乾電池を一緒に使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、漏れが発生することがあります。
- 使い終わった乾電池は、乾電池の電解液が漏れてリモコンが損傷しないよう、ただちに取り外してください。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池から漏れ出た電解液には触れないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。

2.3.5. リモコン操作上の注意

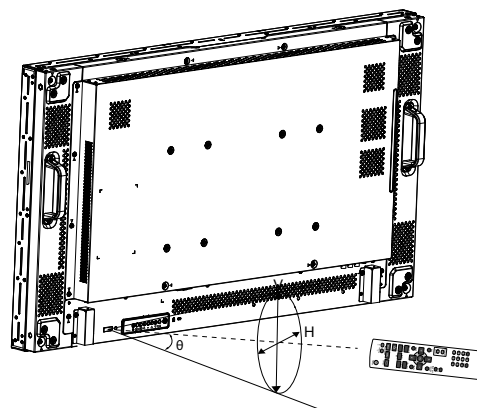
- 強い衝撃を与えないでください。
- リモコンに水などの液体がかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合はただちに拭き取ってください。
- 熱や蒸気にさらさないでください。
- 乾電池を取り付ける時以外はリモコンのカバーを開けないでください。

2.3.6. リモコンの動作範囲

リモコンの先端を本機のリモコンセンサー(裏側)に向け、ボタンを押します。

リモコンは次の表に記載の範囲内で使用してください。

動作角度	リモコン動作距離
$\theta = 0^\circ$ (横および縦)	$\geq 8\text{m}$
$\theta = 20^\circ$ (横および縦)	$\geq 5\text{m}$
$\theta = 45^\circ$ (横のみ)	$\geq 2\text{m}$

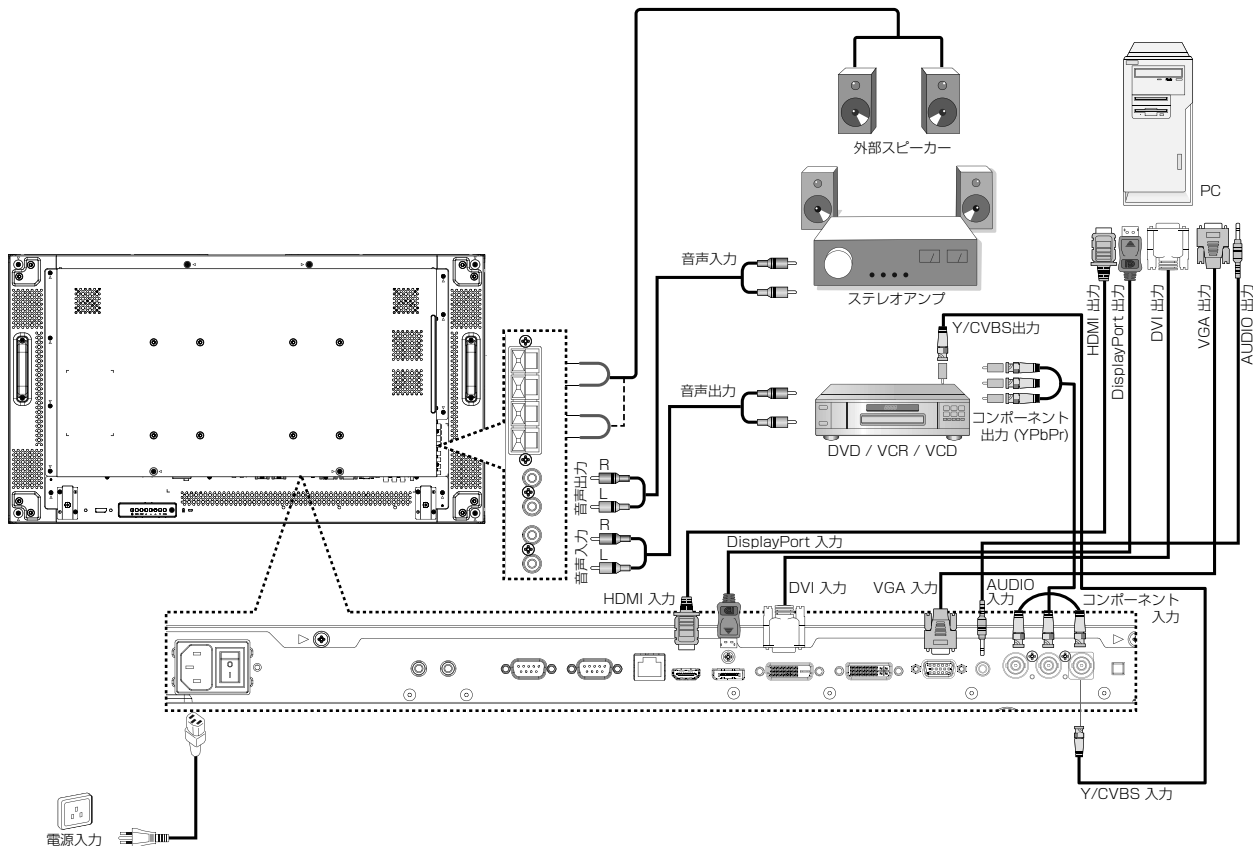


メモ 本機のリモコンセンサーに直射日光や強い照明が当たっている場合や、信号の送信経路に障害物がある場合はリモコンが正しく動作しないことがあります。

3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器を接続する(DVD/VCR/VCD)

3.1.1. コンポーネントビデオ入力を使用する



3.2. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

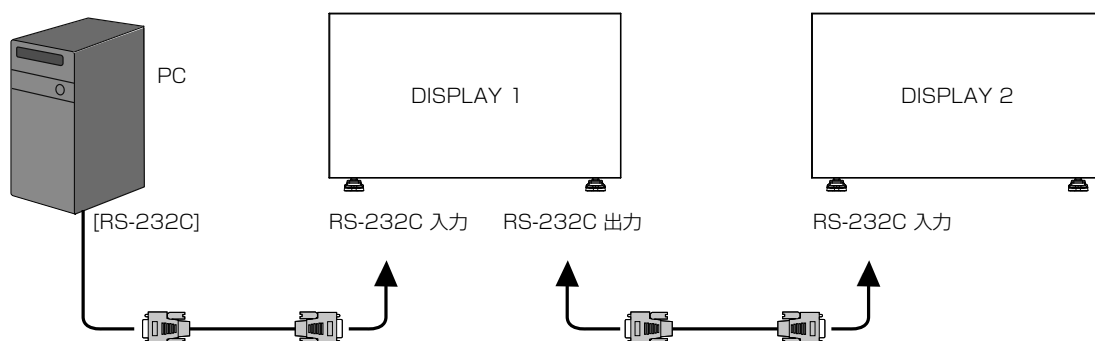
ビデオウォールなどの用途向けに複数のディスプレイを互いに接続し、デイジーチェーン構成にできます。

ビデオウォールの最大可能台数は、次のようにビデオ信号の種類によって異なります。

- 単一のデジタル信号をDVIコネクタ(パススルー)で使用した場合の最大ビデオウォール構成 :9台(推奨値)
- 単一のアナログ信号をVGA コネクタ(パススルー)で使用した場合の最大ビデオウォール構成:4台(推奨値)
- 複数信号を外部分配器または分配増幅器で使用した場合の最大ビデオウォール数:縦10台、横15台の配置設定可能
- モニターIDによりRS-232Cにて最大26台のディスプレイの制御が可能

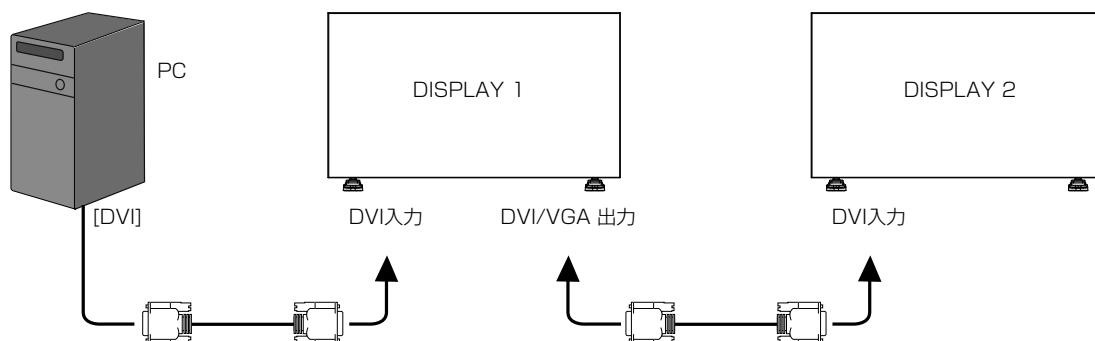
3.2.1. ディスプレイコントロールの接続

DISPLAY 1 のRS-232C 出力端子を DISPLAY 2 の RS-232C 入力端子に接続します。



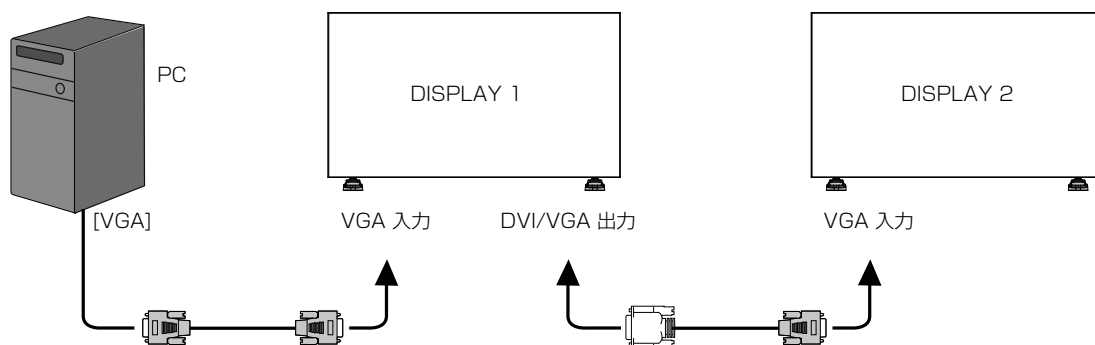
3.2.2. デジタルビデオ接続

DISPLAY 1 のDVI-I(DVI-D/VGA)出力端子を DISPLAY 2 の DVI-D入力端子に接続します。

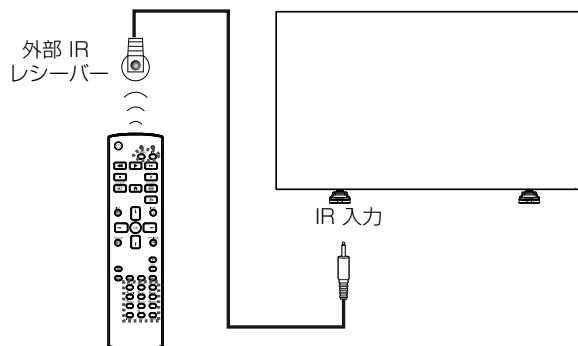


3.2.3. アナログビデオ接続

DISPLAY 1 のDVI-I(DVI-D/VGA)出力端子を DISPLAY 2 の VGA 入力端子に接続します。

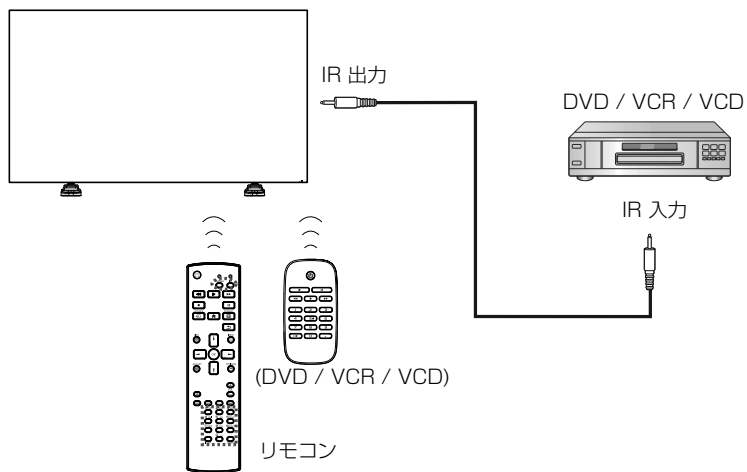


3.3. IR 接続



 **メモ** ・本機のリモコンセンサーは、[IR 入力] に接続されている場合は動作しません。

3.4. IR パススルー接続

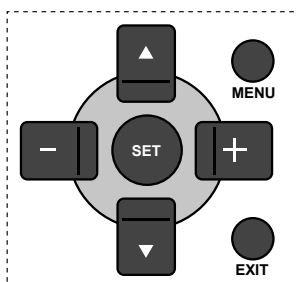


4. OSD メニュー

オンスクリーンディスプレイ(OSD)構造の全体図を以下に示します。本機を詳細に調整するための参考資料として使用できます。

4.1. OSD メニューを操作する

4.1.1. リモコンを使って OSD メニューを操作する



1. リモコンの **[MENU]** ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して、調整したい項目を選択します。
3. **[SET]** または **[+]** ボタンを押してサブメニューを表示します。
4. サブメニューで **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して項目を切り替え、**[+]** または **[-]** ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合は、**[SET]** ボタンを押してサブメニューを表示します。
5. **[EXIT]** ボタンを押して前のメニューに戻るか、**[MENU]** ボタンを押して OSD メニューを終了します。

4.1.2. 本機のコントロールボタンを使って OSD メニューを操作する

1. **[MENU]** ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して、調整したい項目を選択します。
3. **[+]** ボタンを押してサブメニューを表示します。
4. サブメニューで **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して項目を切り替え、**[+]** または **[-]** ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合は、**[+]** ボタンを押してサブメニューを表示します。
5. **[MENU]** ボタンを押して前のメニューに戻るか、**[MENU]** ボタンを複数回押して OSD メニューを

終了します。

4.2. 映像設定メニューの概要

4.2.1. 映像設定メニュー



ブライトネス

LCD パネルのバックライトの強度を変更して、全体的な画像の輝度を調整します。

コントラスト

画像の品質をシャープにします。画像の黒い部分がより暗くなり、白い部分がより明るくなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ブラックレベル

画像の黒のレベルを変更します。

色あい

[+] または **[-]** ボタンを押して調整します。**[+]** ボタンを押すと、肌色が少し緑色になります。**[-]** ボタンを押すと、肌色が少し紫色になります。



・この項目は、HDMI(ビデオモード)、Video、YPbPr 入力でのみ機能します。

色のこさ

画像内の色の明度を増減させます。



・この項目は、HDMI(ビデオモード)、Video、YPbPr 入力でのみ機能します。

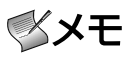
色温度

画像の色温度を選択します。色温度を低くすると赤みがかかった色合いになり、色温度を高くすると青みがかかった色合いになります。

次の選択肢があります。{3000K} / {4000K} / {5000K} / {6500K} / {7500K} / {9300K} / {10000K} / {NATIVE} / {USER}。

USER COLOR

この機能では、R(赤)、G(緑)、B(青)の各設定を変更することによって、画像の色調を正確に調整できます。

 **メモ** ・この項目は、{色温度}が{USER}に設定されている場合にのみ機能します。

ガンマ選択

ガンマは画像の全体的な輝度を調整するためのものです。正しく修正されていない画像は、過度に白く、または暗く表示される可能性があるため、ガンマの適切な調整は、本機の全体的な画像品質に大きく影響します。

次の選択肢があります。{NATIVE} / {2.2} / {2.4} / {S GAMMA}。

ノイズリダクション

画像内のノイズを除去します。適切なノイズ除去レベルを選択できます。

次の選択肢があります。{OFF} / {低、中、高}。

 **メモ** ・この項目は、HDMI(ビデオモード)、Video、YPbPr 入力でのみ機能します。

フィルムモード

フィルムモードフレーム変換機能をオンまたはオフにします。

- **{自動}** - 映画のフィルムモードフレーム変換機能を有効にします。本機では、24 fps(1 秒あたり 24 フレーム)入力信号形式が DVD ビデオ信号形式に変換されます。この機能を有効にしたら、**{IP変換}** 機能を **{プログレッシブ}** に設定することをお勧めします。
- **{OFF}** - フィルムモードフレーム変換機能を無効にします。このモードはテレビ放送や VCR 信号に適しています。

映像リセット


映像設定メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

4.2.2. 画面設定メニュー



オートセットアップ

VGA入力画像を自動的に本機で適切な表示に設定する機能です。

 **メモ** ・この項目は、VGA 入力でのみ機能します。

オートアジャスト

本機で使用できる信号ソースを自動的に検出して表示するようにします。

- **{ON}** - 信号が接続されたら自動的に画像を表示するように本機を設定します。
- **{OFF}** - 信号が接続された後に、手動でのみ選択できます。

水平位置


[+] ボタンを押して画像を右に移動するか、[-] ボタンを押して画像を左に移動します。

垂直位置

[+] ボタンを押して画像を上に移すか、[-] ボタンを押して画像を下に移す。


クロック

画像の幅を調整します。

 **メモ** ・この項目は、VGA 入力でのみ機能します。

クロック位相

画像の焦点、鮮明性、安定性を向上させます。

 **メモ** ・この項目は、VGA 入力でのみ機能します。

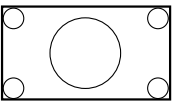
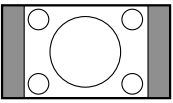
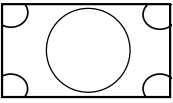
ズームモード

受信する画像は、16:9 形式(ワイドスクリーン)または 4:3 形式(従来型のスクリーン)で送信される可能性が

あります。16:9 の画像は、画面の上下に黒帯が表示される場合があります(レターボックス形式)。


この機能を使用すると、画面上で画像を適切に表示することができます。次のズームモードを使用できます。

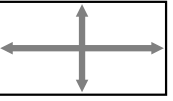
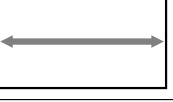
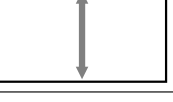
- PC モード: {FULL} / {ノーマル} / {CUSTOM} / {リアル}。
- Video モード: {FULL} / {ノーマル} / {DYNAMIC} / {CUSTOM} / {リアル}。


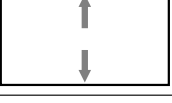
	FULL このモードを使用すると、16:9 で送信された画像の正しい比率が、フルスクリーンディスプレイを使用して復元されます。
	ノーマル 画像は 4:3 形式で再現され、画像の両側に黒帯が表示されます。
	DYNAMIC 4:3 の画像を画面全体に比率を無視して表示します。
	CUSTOM CUSTOM ZOOM サブメニューのカスタムズーム設定を適用します。
	リアル このモードでは、元の画像サイズを縮小・拡大せずに、画像をピクセル単位で画面に表示します。

CUSTOM ZOOM

この機能を使用すると、表示したい画像に合わせてズーム設定を詳細にカスタマイズできます。

 **メモ** ・この項目は、**ズームモード** 設定が **CUSTOM** に設定されている場合にのみ機能します。

	ズーム 画像の横と縦のサイズを同時に拡大します。
	水平ズーム 画像の横のサイズだけを拡大します。
	垂直ズーム 画像の縦のサイズだけを拡大します。

	水平位置 画像の水平位置を左右に移動します。
	垂直位置 画像の垂直位置を上下に移動します。

入力解像度

VGA入力のみ有効です。ディスプレイがVGA入力解像度を検出できなかったとき、解像度設定を行います。

次の選択肢があります。

- ・ 1024x768/ 1280x768/ 1360x768
- ・ 1400 x1050/ 1680x1050
- ・ 1600x 1200/ 1930 x 1200
- ・ Auto : 解像度を自動で設定します。

選択した設定は、ディスプレイの電源をオフにし再度電源オンしたときに有効になります。

画面リセット

画面設定メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

4.2.3. 音質設定メニュー



バランス

左右の音声出力のバランスを調整します。

高音

高音の増減を調整します。

低音

低音の増減を調整します。

音質リセット

音質設定メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

4.2.4. 子画面設定メニュー



子画面モード

PIP (ピクチャーインピクチャー) モードを選択します。

次の選択肢があります。{OFF} / {PIP} / {POP} / {SBS ASPECT} / {SBS FULL}。

子画面サイズ

PIP (ピクチャーインピクチャー) モードのサブ画像のサイズを選択します。

次の選択肢があります。{小} / {中} / {大}。

音声選択

PIP (ピクチャーインピクチャー) モードの音源を選択します。

- {MAIN AUDIO} - メイン画像から音声を選択します。
- {PIP AUDIO} - PIP 画像から音声を選択します。

子画面水平位置

サブ画像の水平位置を調整します。

子画面垂直位置

サブ画像の垂直位置を調整します。

サブ入力

サブ画像の入力信号を選択します。

子画面リセット

子画面設定メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

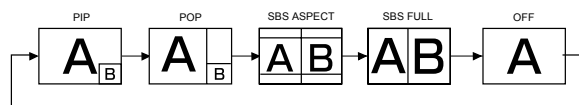


- PIP 機能は、下の表に記載されている特定の信号ソースの組み合わせでのみ使用できます。
- また、PIP 機能を使用できるかどうかは、使用される入力信号の解像度にも左右されます。

メイン画像 サブ画像	DVI	VGA	HDMI	YPbPr	Displayport	Video	Card OPS
DVI	X	O	X	O	X	O	X
VGA	O	X	O	X	O	X	O
HDMI	X	O	X	O	X	O	X
YPbPr	O	X	O	X	O	X	O
Displayport	X	O	X	O	X	O	X
Video	O	X	O	X	O	X	O
Card OPS	X	O	X	O	X	O	X

(O: PIP 機能を使用できます、X: PIP 機能は使用できません)

リモコンの [PIP ON/OFF] ボタンを押すと、以下の順序でモードを変更できます。



PIP モードと POP モードの解像度は次のように構成されます。

PIP SIZE {小}: 320 x 240 ピクセル

{中}: 480 x 320 ピクセル

{大}: 640 x 480 ピクセル

POP SIZE : 474 x 355 ピクセル



- サブ画像に表示される画像は、入力画像のアスペクト比に関わらず、常に上記の PIP サイズに合わせられます。
- メニューにおいて TILING を選択すると、PIP 表示はキャンセルされます。
- TILING 表示中は、PIP は無効となります。
- ズームモードがリアルに設定されている場合、PIP は無効となります。

4.2.5. 詳細設定1メニュー



オフタイマー

指定した時間内に本機が自動的にスタンバイモードになるように設定します。


次の選択肢があります。{OFF、1 HOUR ~ 24 HOURS} (現在の時刻から)。

スケジュール

この機能では、ディスプレイが点灯する時間間隔のスケジュールを最大 7 つプログラムできます。

次の項目を選択できます。

- 本機の電源の入切時間。
- ディスプレイを点灯する曜日。
- スケジュールした点灯時間でどのソースを使用するか。

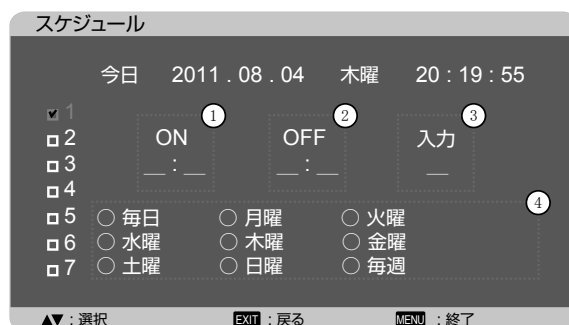
 **メモ** ・この機能を使用する前に、**日付/時刻設定**メニューで現在の日付と時刻を設定する必要があります。

1. [SET] ボタンを押してサブメニューを表示します。



2. [▲] または [▼] ボタンを押してスケジュール項目 (項目番号 1 ~ 7) を選択してから、[SET] ボタンを押して

その項目番号にチェックマークを付けます。



3. [+] または [-] ボタンを押してスケジュールを表示します。

- ① **電源オン**スケジュール: [▲] または [▼] ボタンを押して、本機を**オン**にする時刻を設定します。
- ② **電源オフ**スケジュール: [▲] または [▼] ボタンを押して、本機を**オフ**にする時刻を設定します。

この電源オンまたは電源オフのスケジュールを使用したくない場合は、「時」と「分」の両方のスロットを空欄「_」にします。

- ③ **入力ソース** の選択: [▲] または [▼] ボタンを押して入力ソースを選択します。入力ソースを何も選択しなかった場合は、前回選択した入力ソースと同じままになります。
- ④ **日付**スケジュール: [+] ボタンを押して、このスケジュール項目を有効にする曜日を選択してから、[SET] ボタンを押します。

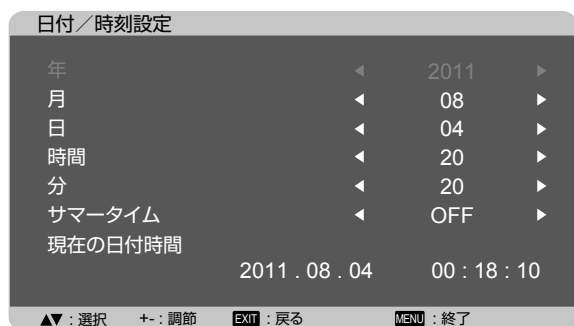
4. 他にもスケジュール設定を行うには、[EXIT] ボタンを押してから上記の手順を繰り返します。スケジュール項目の番号の横にあるボックスにチェックマークが付いている場合は、選択したスケジュールが有効であることを示します。



- この機能を使用する前に、**{日付／時刻設定}** メニューで現在の日付と時刻を設定する必要があります。
- スケジュールが重複する場合、スケジュールされた電源オンの時刻が、スケジュールされた電源オフの時刻よりも優先されません。
- 同じ時刻にプログラムされたスケジュール項目が 2 つある場合、小さい番号のスケジュールが優先されます。たとえば、スケジュール項目 1 とスケジュール項目 2 が両方とも、午前 7:00 に電源をオンにし、午後 5:00 に電源をオフにするように本機を設定している場合、スケジュール項目 1 のみが有効になります。

日付／時刻設定

本機内部の時計の、現在の日付と時刻を調整します。



- [SET] ボタンを押してサブメニューを表示します。
- [▲] または [▼] ボタンを押して、**{年}**、**{月}**、**{日}**、**{時間}**、**{分}**、**{サマータイム}** 設定を切り替えます。
- [+] または [-] ボタンを押して、**{サマータイム}** 以外のすべての設定を調整します。

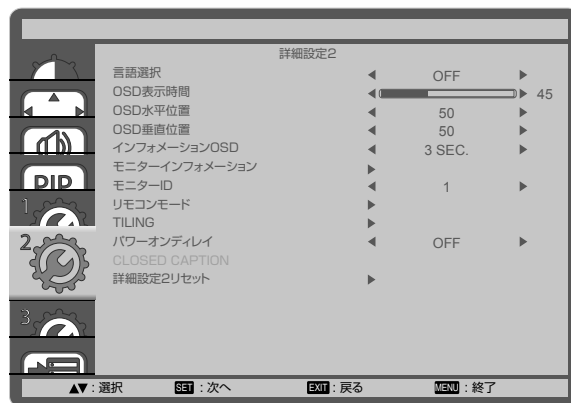
LOGO

{ON} を選択すると、本機の電源が入ったとき TOSHIBA ロゴを表示します。

詳細設定1リセット

詳細設定1 メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

4.2.6. 詳細設定2メニュー



言語設定

OSD メニューで使用する言語を選択します。

次の選択肢があります。**{ENGLISH}** / **{DEUTSCH}** / **{FRANÇAIS}** / **{ITALIANO}** / **{ESPAÑOL}** / **{SVENSKA}** / **{日本語}** / **{中文}**。

OSD表示時間

画面に OSD メニューを表示したままにする時間を設定します。

次の選択肢があります。**{5 ~ 120}** 秒。

OSD水平位置

OSD メニューの水平位置を調整します。

OSD垂直位置

OSD メニューの垂直位置を調整します。

インフォメーションOSD

画面の右上隅に情報 OSD を表示する時間を設定します。情報 OSD は、入力信号が変更されたときに表示されます。

{OFF} を選択すると表示されなくなります。

次の選択肢があります。**{OFF, 3 SEC. ~ 10 SEC.}**。

モニターインフォメーション

MODEL NAME や **SERIAL** など、本機に関する情報を表示します。

モニターID

RS-232C 接続経由で本機を操作する場合の ID 番号を設定します。このディスプレイを複数接続して使用する場合、各ディスプレイに一意的 ID 番号が割り当てられていなければなりません。

割り当て可能なID番号は、最大26台までです。

リモコンモード

複数のディスプレイが RS-232C 接続経由で接続されている場合のリモコンユニットの操作モードを選択します。

- ・ **{ノーマル}** - すべてのディスプレイをリモコンで正常に操作できます。
- ・ **{LOCK}** - このディスプレイのリモコン機能をロックします。ロックを解除するには、リモコンの **[DISPLAY]** ボタンを 5 秒間押し続けます。

TILING

この機能を使用すると、このディスプレイを最大で **縦方向に10段、横方向に15列**設定し、**ひとつの大きな画面(ビデオウォール)**を構成できます。この機能では、デジチェーン接続が必要です。

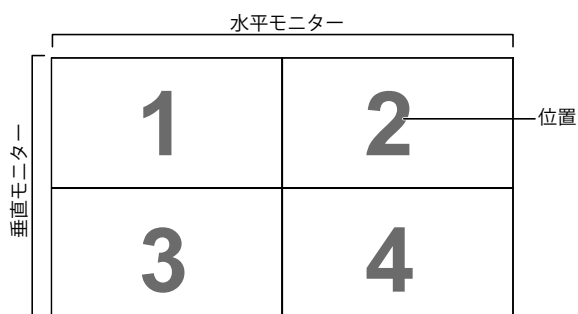
RS-232Cで制御できる最大ディスプレイ数は26台までです。



例:2×2 台構成(ディスプレイ 4 台)の場合

H MONITORS = ディスプレイ 2 台

V MONITORS = ディスプレイ 2 台



例:5×5 台構成(ディスプレイ 25 台)の場合

H MONITORS = ディスプレイ 5 台

V MONITORS = ディスプレイ 5 台



- ・ **H MONITORS** - 横方向のディスプレイの数を選択します。
- ・ **V MONITORS** - 縦方向のディスプレイの数を選択します。
- ・ **POSITION** - このディスプレイの、全体の画面構成の中での位置を選択します。
- ・ **FRAME COMP.** - フレームの補正機能をオンまたはオフにします。オンにすると、ディスプレイの画像が、ディスプレイの縁幅を補正するように調整され、画像が正確に表示されます。
- ・ **ENABLE** - タイル表示機能を有効または無効にします。オンにすると、**{H MONITORS}**、**{V MONITORS}**、**{POSITION}**、**{FRAME COMP.}** の設定が本機に適用されます。

メモ ・ タイル表示中は、PIP機能は動作しません。

パワーオンディレイ

手動または自動で電源をオンにした後に、電源オンモードが有効になるまでの遅延時間を選択します。この設定は、起動メッセージを非表示にし、接続されている複数のデバイスの電源を異なるタイミングでオンにする場合に役立ちます。

次の選択肢があります。**{OFF}**、**{2 SEC.}**、**{4 SEC.}**、**{6 SEC.}**、**{8 SEC.}**、**{10 SEC.}**、**{20 SEC.}**、**{30 SEC.}**、**{40 SEC.}**、**{50 SEC.}**。

CLOSED CAPTION

字幕の表示/非表示を切り替えます。

メモ ・ この項目は、VIDEO 入力でのみ機能します。

- ・ **{OFF}** - 字幕が非表示になります。
- ・ **{CC1}** - 字幕が主音声に同期して表示されます。

- **{CC2}** - (主音声に関連する)情報が同期なしで表示されます。
- **{CC3}** - 字幕が副音声に同期して表示されます。
- **{CC4}** - (副音声に関連する)情報が同期なしで表示されます。
- **{TT1 / TT2 / TT3 / TT4}** - 表示される画像に関連しない 4 種類の情報が表示されます (ニュースや天気予報など)。



• EIA-608-A と互換性があるかどうかを、事前にビデオソフトウェアおよび外部ビデオデバイスのサプライヤーに確認してください。互換性のないビデオ信号の場合、画像が正しく表示されない可能性があります。

詳細設定2リセット

詳細設定2メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

4.2.7. 詳細設定3メニュー



パワーセーブ

ディスプレイの電力を自動的に低減します。

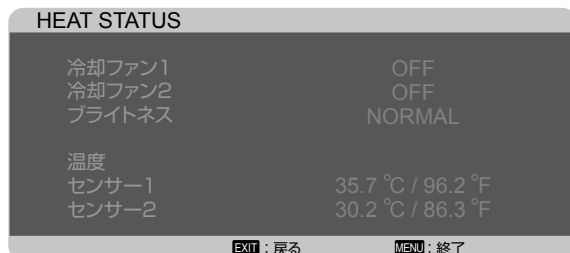


- **{RGB}** - **{ON}** を選択すると、サイクルが 3 回完了した後に HDMI Graphic モード、HDMI 入力、DVI-D 入力、または VGA 入力から信号が検出されないと、ディスプレイが APM モードになります。

- **{VIDEO}** - **{ON}** を選択すると、サイクルが 3 回完了した後に HDMI Video モードまたは YPbPr 入力から信号が検出されないと、本機が節電モードになります。
節電モードで電源オフ移行後30分後にAPMモードになります。

HEAT STATUS

この機能を使用すると、本機の温度ステータスをいつでも確認できます。



スクリーンセーバー

パネルセービング機能を有効にして、「焼き付き」のリスクを減らします。



- **{冷却ファン}** - **{ON}** を選択すると、常に冷却ファンが稼働します。**{自動}** を選択すると、本機の温度に応じて冷却ファンが稼働したり停止したりします。



- デフォルトの **{自動}** オプションを選択すると、温度が **60°C** に達したときに冷却ファンが稼働し始め、温度が **58°C** になるまで冷却してから停止します。
- 温度が **78°C** に達すると、温度警告メッセージが画面に表示されます。温度が **79°C** に達すると、**[Power]** キー以外のすべてのキー機能が無効になり、**80°C** を超えると電源オフに移行し、リモコンセンサー兼電源状態インジケータが緑と赤の交互に点灯にします。

- **{ブライトネス}** - **{ON}** を選択すると、画像の輝度が適切なレベルに下がり、映像設定メニューのブライトネス設定が使用できなくなります。

- ・ **{モーション}** - 本機で画像サイズをわずかに拡大し、ピクセルの位置を4方向(上、下、左、右)にシフトする時間間隔(**{10 ~ 900}** 秒 / **{OFF}**)を選択します。

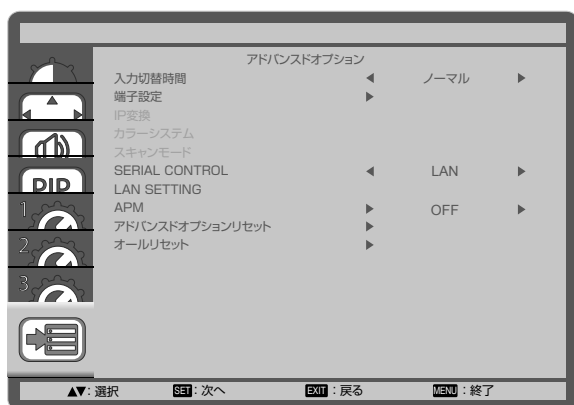
サイドパネル

4:3 画像の両側に表示される黒い領域の輝度を調整します。

詳細設定3リセット

詳細設定3メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

4.2.8. アドバンスドオプションメニュー



入力切替時間

入力切り替えの時間として **{ノーマル}** または **{クイック}** を選択します。

メモ ・ **{クイック}** を選択すると、わずかなノイズが発生する可能性があります。

端子設定

ソースデバイスに応じた信号形式に従って HDMI または DVI 信号を表示するモードを選択します。

- ・ **{DVIモード}**: DVI-D 信号に使用します。
 - ソースデバイスが PC の場合は **{DVI-PC}** を選択します。
 - ソースデバイスがビデオデバイスの場合は、**{DVI-HD}** を選択します。
- ・ **{HDMI信号モード}**: HDMI 信号に使用します。
 - R、G、B それぞれで 256 のレベルのうち 16 ~ 235 のレベルを使用する信号を表示する場合は、**{LIMITED}** を選択します。

- 256 のレベルすべて(レベル 0 ~ 255)を使用する信号を表示する場合は、**{FULL}** を選択します。



IP変換

IP(インターレース・プログレッシブ)変換機能を有効または無効にします。

- ・ **{プログレッシブ}** - IP 変換機能を有効にします(推奨)。有効にすると、インターレース入力信号がプログレッシブ形式に変換され、ディスプレイの品質が向上します。
- ・ **{インターレース}** - IP 機能を無効にします。このモードは映画の表示に適していますが、画像の焼き付きが発生しやすくなります。

カラーシステム

入力ビデオ形式に応じて表色系を選択します。

次の選択肢があります。**{AUTO}** / **{NTSC}** / **{PAL}** / **{SECAM}** / **{4.43NTSC}** / **{PAL-60}**。

メモ ・ この項目は、**VIDEO**入力でのみ機能します。

スキャンモード

画像の表示領域を変更します。

- ・ **{OVERSCAN}** - 画像の元のサイズの約 95% を表示します。画像周囲の残りの領域は切り取られます。
- ・ **{UNDERSCAN}** - 画像を元のサイズで表示します。

メモ ・ この項目は、HDMI-Video タイミング入力でのみ機能します。

SERIAL CONTROL

ネットワークコントロールポートを選択します。

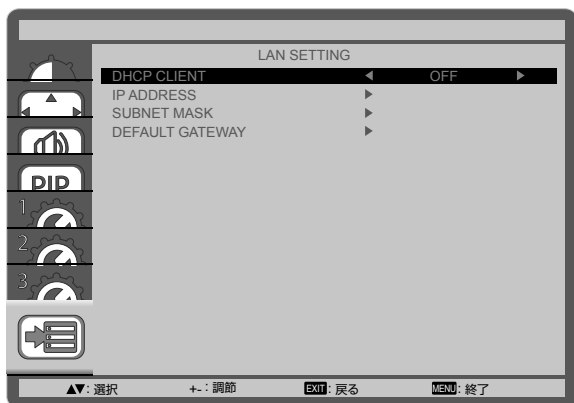
次の選択肢があります。{RS-232C} / {LAN} / {OPS RS-232}。



- ・ {LAN} を選択した場合、ケーブルを接続しても {RS-232C} は有効になりません。逆の場合でも同様です。

LAN SETTING

本機に {IP ADDRESS}、{SUBNET MASK}、{DEFAULT GATEWAY} を割り当てます。



- ・ DHCP CLIENT - DHCP機能を有効または無効にします。

有効にすると、本機にIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に割り当てられます。

無効にした場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で入力してください。

APM (オートパワーマネージメント)

電源オフ時の待機モード設定

- ・ {Off} - 電源オフ時は、節電モードになります。(デフォルト)
- ・ {On} - 電源オフ時は、通常待機モードになります。SERIAL CONTROLにおいて {LAN} を設定している場合、APMは{ON}に設定してください。

アドバンスドオプションリセット

アドバンスドオプションメニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

1. [SET] ボタンを押してサブメニューを表示します。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して {YES} を選択してから、[SET] ボタンを押してリセットします。



オールリセット

{映像設定}、{画面設定}、{音質設定}、{子画面設定}、{詳細設定1}、{詳細設定2}、{詳細設定3}、{アドバンスドオプション} の OSD メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

1. [SET] ボタンを押してサブメニューを表示します。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して {YES} を選択してから、[SET] ボタンを押してリセットします。



5. 入力モード

VGA 解像度:

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセルレート	アスペクト比	標準モード
	水平方向ピクセル	垂直方向行数				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックスアレイ
		480	72 Hz	31.5 MHz		
		480	75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックスアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
		600	75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックスアレイ
		768	75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度:

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセルレート	アスペクト比	標準モード
	水平方向ピクセル	垂直方向行数				
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3	変更後 NTSC 規格
480p			59.94 Hz	27 MHz		
576i	720	576	25 Hz	13.5 MHz	4:3	変更後 PAL 規格
576p			50 Hz	27 MHz		

HDTV 解像度:

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセルレート	アスペクト比	標準モード
	水平方向ピクセル	垂直方向行数				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常 DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常 ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常 ATSC モード
			60 Hz			

- PC テキスト品質は HD1080 モード(1920×1080、60Hz)が適しています。
- PC ディスプレイの画面は、メーカー(および具体的な Windows のバージョン)によって異なる見え方になることがあります。
- PC と本機との接続に関して詳しくは、PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直方向および水平方向の周波数選択モードが存在する場合、60Hz(垂直方向)および 31.5KHz(水平方向)を選択してください。場合によっては、PC の電源を切った時(または PC の接続を取り外した時)に異常信号(ストライプなど)が画面に表示されることがあります。その場合、[INPUT] ボタンを押すとビデオモードになります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平方向の同期信号が RGB モードで不規則になった場合は、PC が省電力モードになっていないか、ケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。
- ディスプレイ設定の表は、IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力を基準にしています。
- DVI サポートモードは、PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードでの垂直周波数は60Hzが適しています。

6. トラブルシューティング

清掃

本機を使用する際の注意

- 使用中や使用直後は手や顔、物を本機の通風孔に近づけないでください。本機上部は通常、通風孔から放出される高温の排気により非常に熱くなっています。体の一部を近づけすぎると、やけどやケガの原因となります。本機上部の近くに物を置くと、その物や本機に熱による損傷が発生する可能性があります。(7ページ参照)
- 本機を移動する前に、すべてのケーブルを取り外してください。ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 安全上の注意に従って、清掃またはメンテナンスを行う際はどのような場合であっても、コンセントから電源プラグを抜いてください。

フロントパネルの清掃手順

- 本機のフロント部分は専用の方法で清掃してください。清潔な布または柔らかな、毛羽立ちのない布を使用して表面を拭いてください。
- 表面が汚れている場合は、中性洗剤に浸した柔らかな、毛羽立ちのない布を絞り、余分な水分を落として、ディスプレイ表面を拭き、汚れを落としてください。次に、同様の乾いた布で水分を拭き取ってください。
- パネル表面を指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質は使用しないでください。

キャビネットの清掃手順

- キャビネットが汚れた場合は、柔らかな乾いた布で拭いてください。
- キャビネットの汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸した毛羽立ちのない布を硬く絞り、拭いてください。別の乾いた布で表面が乾くまで拭き取ります。
- 水や洗剤が、本機の表面に付かないようにしてください。水や湿気が本体内部に入り込むと、動作不良を起こしたり、電氣的障害や感電事故の原因となります。
- キャビネットを指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- キャビネットに、殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質を使用しないでください。
- ゴムまたは PVC 製の物をキャビネットの近くに長期間置かないでください。

6.1. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
画像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが接続されていない。 2. 本機背面にある主電源スイッチが入っていない。 3. 選択した入力ポートに機器が接続されていない。 4. 本機がスタンバイモードになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードを接続してください。 2. 電源スイッチが入っていることを確認してください。 3. 対応する入力ポートに機器を接続してください。
表示される画像が乱れる、または音声にノイズが入る	周囲の電子機器や蛍光灯によるもの。	本機を別の場所に移動し、画像の乱れが軽減されているか確認してください。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが本機背面にしっかりと接続されているか確認してください。
画像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力信号の解像度がディスプレイのサポート範囲を上回っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。 2. ディスプレイのサポート範囲を超えないように、ビデオ信号解像度を確認してください。入力モードの項で仕様を確認してください。
ディスプレイの画像が画面サイズいっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが間違っていてアンダースキャンに設定されている。 3. 画像が画面サイズより大きい場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。 	画像フォーマットを選択し、Auto zoomにになっているか確認してください。
音は聞こえるが画像が表示されない	入力信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。
画像は表示されるが音声が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. MUTEがオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。 2. [+] または [-] ボタンをして音量を調整してください。 3. MUTE ボタンを押して、ミュートをオフにしてください。 4. 外部スピーカーを接続して、お好みの音量に調整してください。
一部の画素が光らない	ディスプレイの一部の画素が欠陥している。	このディスプレイは、極めて精密な技術で製造されていますが、一部のピクセルが表示されない場合があります。これは故障ではありません。
本機の電源を切った後も映像が表示される(ロゴ、ビデオゲーム、コンピューターの画像、4:3 の通常モードで表示された画像などの静止画)	静止画が長時間表示された。	静止画を長時間表示しないでください。LCDに永続的に残像もしくは焼き付きが残ることがあります。LCDの焼き付きは保証対象外です。

7. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ(有効領域)	46 V型(116.8cm)LCD
アスペクト比	16:9
ピクセル数	1920(横)×1080(縦)
ピクセルピッチ	0.53025 (横) x 0.53025(縦)
表示可能色	約1670万色
輝度(標準)	500 cd/m ²
コントラスト比(標準)	3500:1
表示角度	178 度

入出力端子:

項目	仕様	
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー	10W(左)+10W(右)[RMS]/8Ω 1 ウェイ 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz~13 KHz
音声出力	φ3.5mmステレオミニ プラグ×1	0.5V [rms](通常)/2 チャンネル(L+R)
音声入力	RCAX1 φ3.5mmステレオミニ プラグ×1	0.5V [rms](通常)/2 チャンネル(L+R)
RS-232C	φ2.5mmミニ プラグ×2	RS-232C 入力/RS-232C 出力
RJ-45	RJ-45×1 (8 ピン)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI×1 (タイプ A) (18 ピン)	デジタル RGB:TMD5(ビデオ+オーディオ) 最大: ビデオ - 720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル(L+R) LPCM のみ対応
DVI-D 入力	DVI-D	デジタル RGB:TMD5(ビデオ)
VGA 入力	D-Sub×1 (15 ピン)	アナログ RGB:0.7V [p-p](75Ω)、H/CS/V:TTL(2.2kΩ)、SOG:1V [p-p] (75Ω) 最大:720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA)
DVI-I(DVI-D/VGA) 出力	DVI-I ジャック×1 (29 ピン)	デジタル RGB:TMD5(ビデオ) アナログ RGB:0.7V [p-p](75Ω)、H/CS/V:TTL(2.2kΩ)、SOG:1V [p-p] (75Ω) 最大:720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA)
コンポーネント入力	BNC×3	Y:1V [p-p](75Ω)、Pb:0.7V [p-p](75Ω)、Pr:0.7V [p-p](75Ω) 最大:480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p
ビデオ入力	BNC×1 (Component_ Yと共有)	コンポジット 1V [p-p](75Ω)
DisplayPort入力	DisplayPort×1 (20 ピン)	デジタル RGB:TMD5(ビデオ+オーディオ) 最大: ビデオ - 720p、1080p、1920×1080/60 Hz(WUXGA) オーディオ - 48 KHz/2 チャンネル(L+R) LPCM のみ対応

一般:

項目	仕様
電源	AC 100V、50/60Hz、3.5A
消費電力(最大)	280 W
消費電力(標準)	150 W
消費電力(スタンバイ & オフ)	<0.5 W(RS-232Cがアクティブの場合)
寸法[幅×高さ×奥行き]	1024mm x 579mm x 126mm
重量	23.0 Kg
総重量	32.5 Kg

環境条件:

項目	仕様	
温度	動作時	縦置き：0～35℃、横置き：0～40℃
	保管時	-20～60℃
湿度	動作時	20～80% RH(結露しないこと)
	保管時	5～95% RH(結露しないこと)
高度	動作時	0～3,000 m
	保管/輸送時	0～9,000 m

内部スピーカー:

項目	仕様
タイプ	1 ウェイ 1 スピーカー
入力	10 W(RMS)
インピーダンス	8Ω
出力音圧	82 dB/W/M
周波数応答	160 Hz～13 KHz

TD-X461M
液晶ディスプレイ

取付／取扱説明書
平成 27 年 6 月 初版発行
発行：東芝ライフスタイル株式会社
〒198-8710 東京都青梅市末広町 2-9